

【差し替え資料】

平成30年度 保険料率について

平成29年度第4回愛知支部評議会資料① 5ページ「【医療費：追加ケース】5年収支見通し（平成29年度～平成33年度）」は、第86回運営委員会（平成29年9月14日）提出資料の5年収支見通し（平成28年決算ベース）に基づいて作成しましたが、「追加ケース」の試算において、平成31年度以降の保険給付費に誤りがあり、約500億円過大となっていました。

このため、平成29年度第4回愛知支部評議会資料①5ページを本資料に差し替えさせていただきます。

※第86回運営委員会の提出資料も同様に差し替えが行われています。

【医療費：追加ケース】 5年収支見通し（平成29年度～平成33年度）

（単位：億円）

	賃金上昇率		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	① 現在の保険料率 <u>10%</u> を 据え置いた場合	I. 低成長ケース ×0.5	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
収支差			3,200	2,800	2,000	1,700	1,400
準備金			21,300	24,100	26,100	27,800	29,200
II. 0.6%で一定		保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
		収支差	3,200	2,800	1,400	500	▲200
		準備金	21,300	24,100	25,500	26,000	25,800
III. 0%で一定		保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
		収支差	3,200	2,800	800	▲400	▲1,600
		準備金	21,300	24,100	25,000	24,500	22,900
② 平成30年度以降 <u>9.8%</u> に変更 した場合	I. 低成長ケース ×0.5	保険料率	10.0%	9.8%	9.8%	9.8%	9.8%
		収支差	3,200	1,000	200	▲200	▲500
		準備金	21,300	22,300	22,500	22,300	21,800
	II. 0.6%で一定	保険料率	10.0%	9.8%	9.8%	9.8%	9.8%
		収支差	3,200	1,000	▲500	▲1,300	▲2,000
		準備金	21,300	22,300	21,800	20,500	18,500
	III. 0%で一定	保険料率	10.0%	9.8%	9.8%	9.8%	9.8%
		収支差	3,200	1,000	▲1,000	▲2,200	▲3,400
		準備金	21,300	22,300	21,300	19,100	15,700
③ 平成30年度以降 <u>9.7%</u> に変更 した場合	I. 低成長ケース ×0.5	保険料率	10.0%	9.7%	9.7%	9.7%	9.7%
		収支差	3,200	100	▲700	▲1,100	▲1,400
		準備金	21,300	21,400	20,600	19,500	18,100
	II. 0.6%で一定	保険料率	10.0%	9.7%	9.7%	9.7%	9.7%
		収支差	3,200	100	▲1,400	▲2,200	▲3,000
		準備金	21,300	21,400	20,000	17,800	14,900
	III. 0%で一定	保険料率	10.0%	9.7%	9.7%	9.7%	9.7%
		収支差	3,200	100	▲1,900	▲3,100	▲4,300
		準備金	21,300	21,400	19,500	16,400	12,100

最大

【医療費：追加ケース】 5年収支見通し（平成29年度～平成33年度）

（単位：億円）

	賃金上昇率		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	① 現在の保険料率 10%を 据え置いた場合	I.低成長ケース ×0.5	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
収支差			3,200	2,800	2,400	2,000	1,700
準備金			21,300	24,100	26,600	28,600	30,300
II.0.6%で一定		保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
		収支差	3,200	2,800	1,800	900	100
		準備金	21,300	24,100	25,900	26,800	26,900
III.0%で一定		保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
		収支差	3,200	2,800	1,300	▲100	▲1,200
		準備金	21,300	24,100	25,400	25,300	24,100
② 平成30年度以降 9.8%に変更 した場合	I.低成長ケース ×0.5	保険料率	10.0%	9.8%	9.8%	9.8%	9.8%
		収支差	3,200	1,000	600	200	▲100
		準備金	21,300	22,300	22,900	23,100	23,000
	II.0.6%で一定	保険料率	10.0%	9.8%	9.8%	9.8%	9.8%
		収支差	3,200	1,000	0	▲900	▲1,700
		準備金	21,300	22,300	22,300	21,300	19,600
	III.0%で一定	保険料率	10.0%	9.8%	9.8%	9.8%	9.8%
		収支差	3,200	1,000	▲500	▲1,900	▲3,000
		準備金	21,300	22,300	21,800	19,900	16,900
③ 平成30年度以降 9.7%に変更 した場合	I.低成長ケース ×0.5	保険料率	10.0%	9.7%	9.7%	9.7%	9.7%
		収支差	3,200	100	▲300	▲700	▲1,000
		準備金	21,300	21,400	21,100	20,300	19,300
	II.0.6%で一定	保険料率	10.0%	9.7%	9.7%	9.7%	9.7%
		収支差	3,200	100	▲900	▲1,900	▲2,600
		準備金	21,300	21,400	20,400	18,600	16,000
	III.0%で一定	保険料率	10.0%	9.7%	9.7%	9.7%	9.7%
		収支差	3,200	100	▲1,400	▲2,800	▲3,900
		準備金	21,300	21,400	19,900	17,200	13,300

最大

※黄色で塗りつぶした箇所が訂正部分。